

寄贈図書リスト

難問・奇問で語る世界の物理, Thomas Povey, 特定
非営利活動法人物理オリンピック日本委員会 訳,
A5判, 288頁, 2,900円+税, 丸善出版株式会社
私たちは宇宙から見られている? ポール・マーディン,

古田治 訳, 四六判, 336頁, 2,800円+税, 日本
評論社

月はぼくらの宇宙港, 佐伯和人, A5判, 160頁,
1,500円+税, 新日本出版社
理科年表 平成29年第90冊, 国立天文台編, A6判,
1108頁, 1400円+税, 丸善出版株式会社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ず Faxで 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

名古屋大学大学院理学研究科助教

1. 助教 (テニュアトラック教員) 1名
2. (1) 素粒子宇宙物理学専攻宇宙物理学研究室 (U研) 赤外線グループ
(2) 名古屋市
3. 実験・観測的赤外線天文学
4. 現スタッフと協力して, SPICAの装置開発や科学検討などに積極的に取り組み, 「あかり」データなどを用いた科学研究とバランスよく両立して, 研究と教育を行える方を募集します。また, 南アフリカ望遠鏡 IRSFを観測運用できる方を希望します (経験は問いません)。
5. (1) 2017年4月1日以降のできるだけ早い時期
(2) 5年。テニュアトラック制度により, 審査を経て, 講師 (任期なし) へ昇任可能。詳しくは下記 URL を参照のこと。
<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kisoku/act/frame110001177.htm>
6. 博士号取得, または, 着任までに取得見込みの者
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概

要), (3) 業績リスト, (4) 主要論文別刷 (3編以内), (5) 着任後の研究計画と抱負, (6) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先

8. 2017年1月13日 (金) 必着

9. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院理学研究科物理学教室 主任 佐藤憲昭

(2) 素粒子宇宙物理学専攻 金田英宏
e-mail: kaneda@u.phys.nagoya-u.ac.jp, Tel:
052-789-2452

10. 封書に「赤外線天文学人事応募書類在中」と朱書し, 書留で送付。応募書類は返却しない。物理学教室の選考基準については

<http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/scholar/pub.html> を参照。

東京大学大学院新領域創成科学研究科・基盤科学研究系・複雑理工学専攻講師 (任期なし)

1. 講師1名
2. (1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科・基盤科学研究系・複雑理工学専攻
(2) 東京大学柏キャンパス (柏市柏の葉5-1-5)
3. 地球惑星科学
4. 地球惑星科学の深い専門的知識を有し, 飛翔体を用いた太陽系惑星の表層ならびに外圏の環境調査のために, 科学機器開発から科学データの解析に至るまでを主体的に実施でき, かつアストロバイオロジーモジュール (*) の発展に広い視野で取り組める方。(特に, 国内外の飛翔体実験に豊富な経験がある方。) さらに, 複雑理工学専攻の当該分野の教員と協力して学融合教育に積極的に取

り組み、新領域創成科学研究科基盤科学研究系(†)が進めている本学理学系・工学系研究科との連携ネットワークによる深宇宙探査学の教育研究を主導的立場で推進できる方。学部教育を担当していただける方。

5. (1) 平成29年4月1日以降のなるべく早い時期
(2) なし
6. 博士の学位を有すること。複雑理工学専攻の講義・実習・演習を担当できる方。
7. (a) 写真付履歴書(学歴および職歴), (b) これまでの研究教育業績の概要(2,000字程度), (c) 研究業績目録(査読論文とそれ以外の総説, 著書などに分類), (d) 主要な原著論文別刷5編以内(コピー可), (e) 今後の研究計画および抱負(2,000字程度), (f) 教育への抱負(2,000字程度), (g) 応募者に関して所見を伺える方2名の氏名と連絡先(住所, 電話番号 電子メールアドレス)
8. 平成29年1月6日(金)必着
9. (1) 〒277-8561 柏市柏の葉5-1-5 基盤棟
東京大学大学院新領域創成科学研究科
複雑理工学専攻長 教授 篠田裕之
Tel: 04-7136-5525 (専攻秘書室),
Tel/Fax: 04-7136-3959
(2) 〒277-8561 柏市柏の葉5-1-5
東京大学大学院新領域創成科学研究科
複雑理工学専攻 教授 吉川一朗
Tel: 04-7136-5520
e-mail: yoshikawa [at mark] k.u-tokyo.ac.jp
(上記の[at mark]は@に置き換えてください。)
10. 封筒に「複雑理工学専攻教員応募書類在中」と朱書し, 簡易書留で送付のこと。応募書類は返却いたしませんので, ご了解ください
11. 東京大学および新領域創成科学研究科の規定による。

(*) 複雑理工学専攻では、「極限物質」「脳・バイオ」「アストロバイオロジー」の3つのモジュールを中心に, ナノから宇宙にわたるマルチスケール複雑系の学融合を推進し, 新しい複雑系科学・技術の創成を目指しています。また, これらの分野に共通する数理・情報・学習などの理論と技術に基づく複雑系プラットフォームを構築することにより, 研究と人材育成を促進し, 新たな展開を図っています。本専攻の詳細については, 専攻ホームページ(<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/complex/>)をご覧ください。

(†) 新領域創成科学研究科基盤科学研究系は, 物質系専攻, 先端エネルギー工学専攻, 複雑理工

学専攻の3専攻, および, 新たに設置された核融合研究教育プログラム, 基盤科学領域創成研究教育プログラムから構成されています。本研究系の詳細については, 研究系説明のページ(<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/pros/shogen/aim.htm#kiban>)をご覧ください。

(#) 新領域創成科学研究科基盤科学研究系では, 理工連携のネットワークによる深宇宙探査の革新を目指して, 深宇宙探査を推進する原動力となる衛星技術や科学計測機器の開発と, それらに基づいた探査ミッション提案などの教育研究に取り組んでいます。そして, 理学・工学分野の垣根を越え, 専攻を横断する形で多様な専門分野をもつ研究者間での協同を促進し, 革新的なアイデアや技術を創成することを目指しています。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻教員

1. 2016年4月(第109巻4号)
2. 井上剛志(国立天文台・助教)
3. 2016年11月1日

研究会・集会案内

銀河学校 2017 参加者募集

東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター木曾観測所(以下, 東京大学木曾観測所)で, 高校生対象の天文学観測体験実習セミナー「銀河学校」を開催します。「銀河学校」では, 木曾観測所の口径105 cmの望遠鏡を用いて天体の観測を行い, 得られたデータを解析することで天文研究を体験することができます。天文に関する基礎知識は必要ありません。天文が大好きな方はもちろん, 天文が初めてという方も大歓迎いたします。宇宙や科学に興味もつみなさんの参加をお待ちしております。

主催: 銀河学校実行委員会

日時: 2017年3月28日(火)~31日(金)

場所: 長野県木曾郡木曾町三岳10762-30 東京

大学木曾観測所

対象：高校生（新高校生を含む）

参加費用：8,000円（滞在費，保険料）

（JR木曾福島駅までの交通費は各自でご負担ください）

応募方法：下記ホームページにある応募方法を確認し，必要事項を明記したものと作文（800字程度）を，郵便または電子メールにてお送りください。

作文テーマ：「銀河学校でやってみたいこと」

口径105cmの望遠鏡で観測したい天体や天文現象，また銀河学校で取り組みたい研究について，なぜそれを観測・研究したいかの理由とともにまとめてください。

宛先：〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳10762-30

東京大学木曾観測所

e-mail: ggakko@sciencestation.jp

応募締切：2017年1月31日（火）必着

問合せ：Tel 0264-52-3360（東京大学木曾観測所）

・詳しくは銀河学校のホームページをご参照ください。

<http://sciencestation.jp/activities/gs.html>

・応募者多数の場合は作文による選考を行います。その際，天文に関する知識よりも，参加への意欲を評価の基準とさせていただきます。結果は2月中旬に応募者全員に通知いたします。

*銀河学校は，「子どもゆめ基金」の助成と，「NPOサイエンスステーション」の協力を受けて開催されます。

会務案内

2017年度正会員会費について

9月15日に愛媛大学で開催された代議員総会にて「会費に関する細則」が改正されました。2015年度から暫定的に値下げしていました正会員（学生）会費については2017年度以降10,000円（10月初日以降に初めて入会した正会員（学生）は5,000円）となります。また，PASJの製作をOUPに委託してから3年が経過し財政状況が改善してきましたので，正会員会費について2017年度は暫定的に18,000円から15,000円に値下げいたします。値下げを継続するかどうかは財政状

況への影響を見ながら継続審議していきます。

細則の改正部分（第2条）は以下のとおりです。（金額）

第2条 本会の会費は次の通り定める。

1. 正会員は年額18,000円。
2. 当該年度の4月末日までに会費を納入した正会員の学生，当該年度に正会員として入会した学生，または当該年度に準会員から正会員に移籍した学生の場合は，割り引いて年額10,000円とする。ただし，10月初日以降に初めて入会した正会員の学生の場合は，当該年度のみ5,000円とする。
3. 準会員は年額8,000円
4. 団体会員は年額10,000円
5. 賛助会員は年額1口以上（1口30,000円）
6. 名誉会員は会費を納めることを要しない

附則：

1. 本細則は平成29年度の会費より適用する。
2. 平成29年度については，第2条1項に定める正会員の会費を年額15,000円とする。

（会計理事 柴田克典）

PASJ 紙版有料化の方針変更について

9月15日に愛媛大学で開催された代議員総会にて，PASJの紙版を受け取られる正会員の方には69巻2号より送料として年間2,000円をご負担いただくことが審議され承認されました。PASJの紙版は海外から発送されるため，刊行回数などにもよりますが，会員一人あたり年間約2,500円以上の送料を学会は負担しております。PASJは電子版の刊行を主体としており，紙版の希望者も大きく減少しているのに加え，発送費用が以前よりも大幅に増えています。そのため，紙版を希望される方にその送料の一部のご負担をお願いする次第です。

方針の変更にあたり，現在，紙版配布を希望されている方への発送は69巻1号を以って終了いたします。69巻2号以降の紙版配布を希望される方は，下記のサイトにて申請してください。

<http://pasj.asj.or.jp/paper.html>

Faxまたは郵便による申請を希望される方は，お名前と会員番号とともに学会事務所へお申し出ください。いずれの方法も申請の締切は2017年1月31日です。

（欧文研究報告編集長 嶋作一大）

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまづ必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は
youtsumi@hiroshima-u.ac.jpまで、
またその他のご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまで
お願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆者のために日本天文学会HPに「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご用意いたしました。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtex/あるいは文字コードに応じてu_Tex2/, MSWordで執筆される方はword/をご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

訃 報

会員の田鍋浩義氏は10月6日にご逝去されました。享年88歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol98**(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成28年12月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2016年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)